

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：R6 年 3 月 25 日

事業所名 さぽーとハウス和音

保護者等数(児童数)7名 回収数 6名 割合 90 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1	0	0	長期休みになると放 ディの児童と一緒に なる時がある。	放ディと一緒にした時の スペースの確保ができ ていると伝える。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	0	1	0	職員が足りない気がする	職員配置については基準を満 たしている事を伝える。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された 環境*1になっているか。また、障がいの特性に 応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報 伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっているか。また、子ども達の活動に合わせた 空間となっているか	5	1	0	0		
適切な支 援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析 された上で、児童発達支援計画*2が作成されて いるか	6	0	0	0		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラ インの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発 達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支 援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの 支援に必要な項目が適切に選択され、その上 で、具体的な支援内容が設定されているか	5	1	0	0	家族が迷っている時に別な選 択肢があることも伝えてほし い。	家族支援に今まで以上に取り 組んでいきたい。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている か	6	0	0	0		
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されて いるか	5	1	0	0		サービス提供の記録に活動プ ログラムの詳細を記入すること で知っていただくようにする。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	0	0	1		
保護者へ の説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明が なされたか	5	1	0	0		丁寧な説明を心がける。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに 基づき作成された「児童発達支援計画」を示しな がら支援内容の説明がなされたか	6	0	0	0		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・ トレーニング*4等)が行われているか	4		1	1		家族支援に今まで以上に取り 組んでいきたい。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子 どもの健康や発達の状況、課題について共通理 解ができているか	5	0	1	0	情報共有されていない	丁寧にお伝えするようにする。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関す る助言等の支援が行われているか	5	0	1	0		面談の頻度が足りないと感じる ご家庭に対する丁寧な関わりを 行う。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催 等により保護者同士の連携が支援されているか	5	0	0	1		保護者会の活動内容の丁寧な 報告を行う。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	0	0	1		いつでも相談しやすい体制づくりを行う。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	0	1	0		丁寧にお伝えするようにする。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	1	0	0		いつでも相談しやすい体制づくりを行う。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	5	1	0	0		取り扱いには注意する。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	5	0	1	0		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	0	0	1		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	0		
	23	事業所の支援に満足しているか	5	1	0	0		

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。